

FRP防水工法および防食工法

コロテクトシステム

屋上・バルコニー・プール・水槽・浴室・床・防食

免責事項：シーカ製品の施工および使用に関する推奨その他の情報は、当社の現時点での知識および経験に従ったものであり、通常の条件下で当社の推奨に従い適切に保管・処理・施工されることを前提としております。実際には、材料・接着面・現場の条件がそれぞれ異なるため、ここに記載されている情報、書面による推奨その他のアドバイスは、商品性や特定目的への適合性について保証するものではなく、また法的関係に基づく責任を生じさせるものではありません。ユーザーは、シーカ製品がユーザーの意図する施工方法および目的に適しているかどうかを、必ず事前に確認してください。特に、施工、施工管理及び施工に関する報告書の作成はユーザーの責任において行うものであることにご留意ください。当社は、第三者の財産権を尊重し、製品の特性を変更する権利を有します。すべての注文は、当社の最新の販売・納品条件に従って受注します。ユーザーは常に、使用する製品のプロダクトデータシート及び実施する施工方法についての施工要領の最新版をご参照ください。プロダクトデータシート及び実施する施工方法についての施工要領の最新版は、ご請求いただければ当社がご提供いたします。

製品・工法に関するお問い合わせはホームページのブランドサイト <https://www.dpcdpc.com/> にてご確認のうえ各地域のオフィスまでお願い申し上げます。

2023年10月版

(23.10月現在) 23.10.300 SJ

シーカ・ジャパン株式会社は、1988年にFRP防水工法および防食工法である「コロテクトシステム」を開発して以来、約40年にわたり、様々な用途に対して実績を重ねてまいりました。

「コロテクトシステム」は、FRPが保有する優れた強度特性、耐久性、耐水性、耐薬品性などを建築防水および防食分野に応用展開した工法です。建築防水分野は、バルコニー、屋上、プール、水槽、浴室、床など多岐にわたる用途に適用できます。防食分野は、薬品に曝される床および槽などに適用できます。また、下水道事業団用途にも適用できます。

様々な用途に適用できる「コロテクトシステム」を是非ご検討ください。

コロテクトシステムの特長

優れた防水性・耐水性

冷工法でシームレスな防水層を形成します。弊社では特に耐水性に優れたイソ系ポリエステル樹脂を使用しており、既に数多くの実績を有しております。

また、スチレンの揮発量を低くした低揮散タイプの樹脂を使用し、環境に対しても配慮しております。

優れた耐候性

船舶、高架水槽、クーリングタワー等野外でのFRP成型品と同様に優れた耐候性を有します。

仕上げ材の選定により、更に優れた耐候性を発揮します。

優れた下地接着性

プライマーの選定により様々な被着体に強力に接着します。

ドレン、手すり等の役物との納りも完全です。

優れた施工性

高温、低温にかかわらず、常に硬化時間が調節でき、また連続作業を行うことができるので、工期の短縮がはかれます。部分補修も容易です。

優れた耐久性

耐荷重・耐衝撃・耐磨耗等に優れています。

下地の挙動や温度変化による膨張・収縮にも充分追従します。

コロテクトシステムの各工法と用途

バルコニー・屋上防水工法 3

露出で重歩行が可能です。軽量で強靱な防水層です。

- 一般屋上
- ベランダ（コンパネ、モルタル下地共）
- ルーフバルコニー
- Gondola使用の屋上
- 開放廊下
- 屋上庭園
- 庇

プール・水槽防水工法 (プール・防火水槽・生簀・排水溝) 5

- RCプール
- 足、腰洗い槽
- すべり台
- 防火水槽
- 生け簀
- 水族館施設

浴室防水工法 7

ビニルエステル樹脂 7

厨房・一般床防水工法 9

スチレン樹脂、ビニルエステル樹脂 9

防食床・防食工法 11

耐薬品性、耐熱性、耐溶剤性等に優れ、いろいろな防食条件に対応します。

- 防食床
- 化学・食品等の工場床
- 上下水道処理施設
- 重防食槽（薬液槽）
- 防食塗装

下水道事業団対応工法 13

不燃認定仕様 15

飛び火性能 飛び火認定詳細一覧表 16

建築工事標準仕様書 (JASS8-2014) 17

使用可能時間および乾燥時間 18

納まり図例 19

ビニルエステル樹脂の耐薬品性 21

プライマー 23

トップコートの塗り替え 23

基本物性 24

注意事項 25

施工条件 26

使用材料一覧 29

■ バルコニー・屋上防水工法 (ポリエステル樹脂)

CT-100R仕様

仕様名	適用箇所	工程 1	工程 2	工程 3	工程 4	工程 5	工程 6	工程 7
CT-1-N	バルコニー・屋根 (粗面仕上げ)	CTプライマー 0.15kg~/㎡	CT-100R 0.4kg/㎡	ガラスマット#450 0.48kg/㎡ CT-100R 1.6kg/㎡	CT-2000 0.4kg/㎡	CTカラートップN 0.4kg/㎡ ^{*1}		
CT-1-NU	バルコニー・屋根 (粗面仕上げ)	CTプライマー 0.15kg~/㎡	CT-100R 0.4kg/㎡	ガラスマット#450 0.48kg/㎡ CT-100R 1.6kg/㎡	CT-2000 +CTワックス 又はCT-2500 0.4kg/㎡	コンボトップAU +ファイライト 0.2kg/㎡ ^{*2}		
CT-1-M	バルコニー・屋根・笠木・庇 平場用 (モルタル仕上げ)	CTプライマー 0.15kg~/㎡	CT-100R 0.4kg/㎡	ガラスマット#450 0.48kg/㎡ CT-100R 1.6kg/㎡	CT-2000 +CTワックス 又はCT-2500 0.4kg/㎡	珪砂4号 1.0kg/㎡	モルタル仕上げ 別途工事	
CTW-1-M	バルコニー・屋根・笠木・庇 立上り用 (モルタル仕上げ)	CTプライマー 0.15kg~/㎡	CT-100R 0.4kg/㎡	ガラスマット#450 0.48kg/㎡ CT-100R 1.6kg/㎡	トンボ 150mmピッチ	CT-2000 +CTワックス 又はCT-2500 0.4kg/㎡	モルタル仕上げ 別途工事	
CT-2-N	バルコニー・屋根 (粗面仕上げ)	CTプライマー 0.15kg~/㎡	CT-100R 0.4kg/㎡	ガラスマット#380 0.4kg/㎡ CT-100R 1.4kg/㎡	ガラスマット#380 0.4kg/㎡ CT-100R 1.4kg/㎡	CT-2000 0.4kg/㎡	CTカラートップN 0.4kg/㎡ ^{*1}	
飛火認定仕様 CT-2-N (防火)	バルコニー・屋根 (粗面仕上げ)	CTプライマー 0.15kg~/㎡	CT-100R 0.4kg/㎡	ガラスマット#380 0.4kg/㎡ CT-100R 1.4kg/㎡	ガラスマット#380 0.4kg/㎡ CT-100R 1.4kg/㎡	CT-2000 0.4kg/㎡	CTカラートップN (防火用) 0.4kg/㎡ ^{*1}	
CT-2-NU	バルコニー・屋根 (粗面仕上げ)	CTプライマー 0.15kg~/㎡	CT-100R 0.4kg/㎡	ガラスマット#380 0.4kg/㎡ CT-100R 1.4kg/㎡	ガラスマット#380 0.4kg/㎡ CT-100R 1.4kg/㎡	CT-2000 +CTワックス 又はCT-2500 0.4kg/㎡	コンボトップAU +ファイライト 0.2kg/㎡ ^{*2}	
CT-2-M	バルコニー・屋根・笠木・庇 平場用 (モルタル仕上げ)	CTプライマー 0.15kg~/㎡	CT-100R 0.4kg/㎡	ガラスマット#380 0.4kg/㎡ CT-100R 1.4kg/㎡	ガラスマット#380 0.4kg/㎡ CT-100R 1.4kg/㎡	CT-2000 +CTワックス 又はCT-2500 0.4kg/㎡	珪砂4号 1.0kg/㎡	モルタル仕上げ 別途工事
CTW-2-M	バルコニー・屋根・笠木・庇 立上り用 (モルタル仕上げ)	CTプライマー 0.15kg~/㎡	CT-100R 0.4kg/㎡	ガラスマット#380 0.4kg/㎡ CT-100R 1.4kg/㎡	ガラスマット#380 0.4kg/㎡ CT-100R 1.4kg/㎡	トンボ 150mmピッチ	CT-2000 +CTワックス 又はCT-2500 0.4kg/㎡	モルタル仕上げ 別途工事

※1 CTカラートップは、平滑仕上げFタイプもあります(仕様記号がNからFになります)。

※2 コンボトップAUの平滑仕上げは、ファイライトを添加しないで下さい。

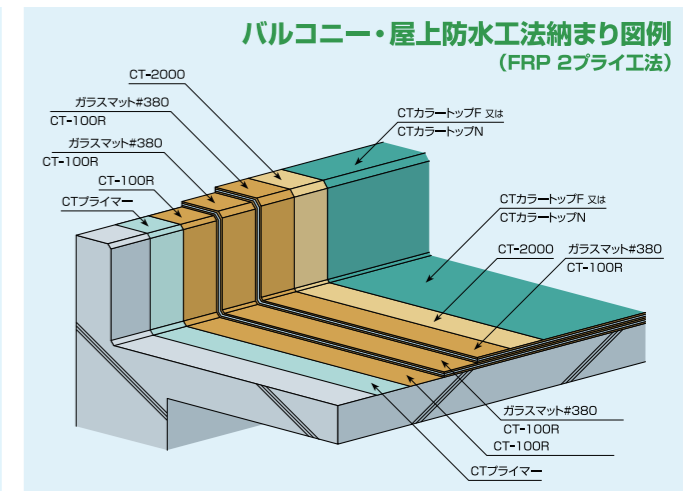
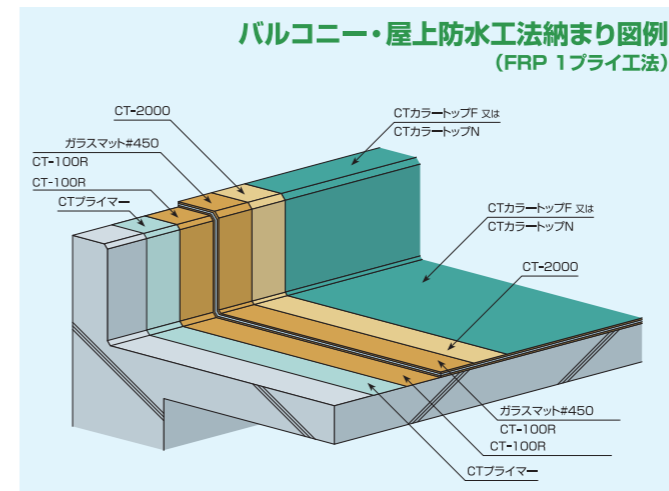
(注)飛び火認定工法に関しては、15~16ページを参照して下さい。

通気絶縁工法

仕様名	適用箇所	工程 1	工程 2	工程 3	工程 4	工程 5
FV-1-N	バルコニー・屋根 (粗面仕上げ)	CTプライマー 0.15kg~/㎡	FVシート 1.0m/㎡	ガラスマット#450 0.48kg/㎡ CT-100R 1.6kg/㎡	CT-2000 0.4kg/㎡	CTカラートップN 防火用、遮熱 0.4kg/㎡
FV-1-NU	バルコニー・屋根 (粗面仕上げ)	CTプライマー 0.15kg~/㎡	FVシート 1.0kg/㎡	ガラスマット#450 0.48kg/㎡ CT-100R 1.6kg/㎡	CT-2000 +CTワックス 又はCT-2500 0.4kg/㎡	コンボトップAU 遮熱 +ファイライト 0.2kg/㎡ ^{*2}

※ コンボトップAUの平滑仕上げは、ファイライトを添加しないで下さい。

(注)FV仕様のトップコートは、遮熱用を標準とします。脱気筒を取り付けて下さい。



施工上の注意事項

- 下記の材料には、パーメックNR(K)04を添加して使用して下さい。(パーメックNR(K)04の添加量は18ページを参照) CT-100R、CT-2000、CT-2500、CTカラートップN、CTカラートップF
- CTワックスの添加量は、4~6%です。
- ファイライトの添加量は、コンボトップAU (18kg) 1セットに対して、1箱 (0.5kg) です。
- CTプライマーから最終工程までを1日で完了する場合は、CT-2000に替えてCT-100RにCTトナーを6%添加した材料を塗布することが可能です。
- 工程1のCTプライマーの塗布後12時間以上経過したり、降雨等の水分と接すると接着力が低下しますので注意して下さい。このような場合には、サンディング等を行って除去し、再度CTプライマーを塗布して下さい。
- モルタル仕上げの場合には、下記の注意事項を守って下さい。
 - ①平場用の珪砂の散布は、前工程のFRP樹脂の施工直後に行い、FRP樹脂の硬化後に余剰な珪砂を清掃して下さい。
 - ②立上り用のトンボを取り付けるには、CTパテ (要:パーメックNR(K)04の添加) を使用して下さい。
 - ③仕上げからトンボを取り付ける部分を研磨してからエポキシ系接着剤で張り付けることも可能です。
- CTカラートップ及びコンボトップAU塗布前にバリ取りを行なって下さい。

■ プール・水槽防水工法 (ポリエステル樹脂、

ビニルエステル樹脂) (プール・防火水槽・生簀・排水溝)

1 プライ工法

仕様名	適用箇所	工程 1	工程 2	工程 3	工程 4	工程 5	工程 6	工程 7	工程 8	工程 9
P-1S-F	洗体槽 (平滑仕上げ)	CTプライマー	CT-100R	ガラスマット# 450 0.48kg/㎡	サーフェスマット 0.033kg/㎡	研 磨	CT-3000JS +CTトナー +CTワックス又は CT-3000トップコート 0.4kg/㎡	研 磨	コンボトップ AU 0.2kg/㎡	コンボトップ AU 0.2kg/㎡
		0.15kg~/㎡	0.4kg/㎡	CT-100R 1.6kg/㎡	CT-3000JS 0.6kg/㎡					
P-1-F	厨房排水溝等 (平滑仕上げ)	CTプライマー	CT-100R	ガラスマット# 450 0.48kg/㎡	CT-3000 中塗り 又はCT-3000JS +CTトナー 0.4kg/㎡	研 磨	CT-3000 トップコート 0.4kg/㎡			



2 プライ工法

仕様名	適用箇所	工程 1	工程 2	工程 3	工程 4	工程 5	工程 6	工程 7	工程 8	工程 9	工程 10
P-2S-F	RC造プール (平滑仕上げ)	CTプライマー	CT-100R	ガラスマット# 380 0.4kg/㎡	ガラスマット# 380 0.4kg/㎡	サーフェスマット 0.033kg/㎡	研 磨	CT-3000JS +CTトナー +CTワックス又は CT-3000トップコート 0.4kg/㎡	研 磨	コンボトップ AU 0.2kg/㎡	コンボトップ AU 0.2kg/㎡
P-2-T	RC造プール 平場用 (タイル仕上げ)	CTプライマー	CT-100R	ガラスマット# 380 0.4kg/㎡	ガラスマット# 380 0.4kg/㎡	CT-3000JS +CTワックス	珪砂 4号 1.0kg/㎡	CT-3000JS +CTワックス	研 磨	タイル仕上げ 別途工事	
PW-2-T	RC造プール 立上り用 (タイル仕上げ)	CTプライマー	CT-100R	ガラスマット# 380 0.4kg/㎡	ガラスマット# 380 0.4kg/㎡	トンボ 150mmピッチ	CT-3000JS +CTワックス 0.4kg/㎡	CT-3000JS +CTワックス	研 磨	タイル仕上げ 別途工事	
P-2-F	防火水槽・生簀 飼育プール (平滑仕上げ)	CTプライマー	CT-100R	ガラスマット# 380 0.4kg/㎡	ガラスマット# 380 0.4kg/㎡	CT-3000 中塗り 又はCT-3000JS +CTトナー 0.4kg/㎡	研 磨	CT-3000 トップコート 0.4kg/㎡			



施工上の注意事項

- 下記の材料には、パーメックNR(K)04を添加して使用して下さい。
(パーメックNR(K)04の添加量は18ページを参照)
CT-100R、CT-3000JS、CT-3000中塗り、CT-3000トップコート
- CT-3000トップコートの代わりにCT-3000+CTトナー+CTワックスとする場合は、色むら、隠蔽力不足等の不具合が起こる場合があるのでご注意下さい。
配合は、CT-3000JS(18kg)1缶に対して、CTトナー(1kg)1缶、CTワックス900gです。
- CT-3000中塗りの代わりにCT-3000JS+CTトナーとする場合は、色むら、隠蔽力不足等の不具合が起こる場合があるのでご注意下さい。
配合は、CT-3000JS(18kg)1缶に対して、CTトナー(1kg)1缶です。
- 工程1のCTプライマーの塗布後12時間以上経過したり、降雨等の水分と接すると接着力が低下しますのでご注意下さい。
このような場合には、サンディング等を行って除去し、再度CTプライマーを塗布して下さい。
- タイル、モルタル仕上げの場合には、下記の注意事項を守って下さい。
 - 平場用の珪砂の散布は、前工程のFRP樹脂の施工直後に行い、FRP樹脂の硬化後に余剰な珪砂を清掃して下さい。
 - 立上り用のトンボを取り付けるには、CT-3000JSにタルクを1:1の配合混合したパテ材(要パーメックNR(K)04の添加)を使用して下さい。
 - 仕上げてからトンボを取り付ける部分を研磨してからエポキシ系接着剤で貼り付けることも可能です。



注 意 事 項

- プールへの採用については事前にメーカーへご相談下さい。
(仕様選定、材料選定、施工上の注意点、保証内容等に注意を必要とするため)
- 温水プールには対応できません。
- トップコートは経年により、膨れ、黒点等が発生することがあります。常温で固めるFRPの樹脂は硬化剤にパーメックNR(K)04を使用します。この硬化剤は樹脂に含有しているコバルトと反応することで樹脂の硬化反応につながります。しかし、このコバルトはプール水に添加される次亜塩素酸ナトリウムと化学反応を起こし、黒く変色する性質があります。この現象は、全ての現場で発生しているわけではありませんが、一度発生してしまうと、その現場を補修することがかなり難しく(また発生する可能性が非常に高い)なることが予想されます。この現象は、特に温水プールが多く、屋外プールでも水温の高いプールでは発生率が高くなります。
- プールサイドには、FRP、ウレタンの仕様を組むことができます。

浴室防水工法 (ビニルエステル樹脂)

1 プライ工法

仕様名	適用箇所	工程 1	工程 2	工程 3	工程 4	工程 5	工程 6	工程 7	工程 8
B-1S-F	洗い場 風呂釜下 (平滑仕上げ)	CT プライマー	CT-3000JS	ガラスマット# 450 0.48kg/㎡	サーフェスマット 0.033kg/㎡	バリ取り	CT-3000 中塗り 又は CT-3000JS + CT トナー 0.4kg/㎡	研 磨	CT-3000 トップコート 0.4kg/㎡
		0.15kg/㎡	0.4kg/㎡	CT-3000JS 1.6kg/㎡	CT-3000JS 0.6kg/㎡				



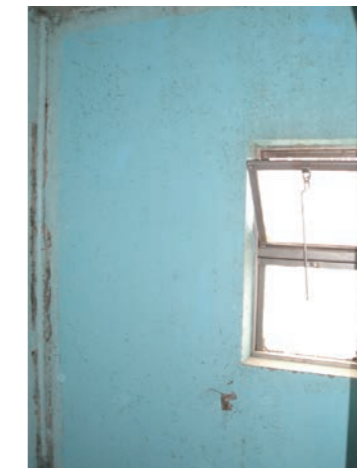
2 プライ工法

仕様名	適用箇所	工程 1	工程 2	工程 3	工程 4	工程 5	工程 6	工程 7	工程 8	工程 9
B-2S-F	洗い場・浴槽 (平滑仕上げ)	CT プライマー	CT-3000JS	ガラスマット# 380 0.4kg/㎡	ガラスマット# 380 0.4kg/㎡	サーフェスマット 0.033kg/㎡	バリ取り	CT-3000 中塗り 又は CT-3000JS + CT トナー 0.4kg/㎡	研 磨	CT-3000 トップコート 0.4kg/㎡
		0.15kg/㎡	0.4kg/㎡	CT-3000JS 1.4kg/㎡	CT-3000JS 1.4kg/㎡	CT-3000JS 0.6kg/㎡				
B-2-T	洗い場・浴槽 平場用 (タイル仕上げ)	CT プライマー	CT-3000JS	ガラスマット# 380 0.4kg/㎡	ガラスマット# 380 0.4kg/㎡	CT-3000JS + CT ワックス	珪砂 4号	タイル仕上げ	別途工事	
BW-2-T	洗い場・浴槽 立上り用 (タイル仕上げ)	CT プライマー	CT-3000JS	ガラスマット# 380 0.4kg/㎡	ガラスマット# 380 0.4kg/㎡	トンボ	CT-3000JS + CT ワックス	タイル仕上げ	別途工事	
				CT-3000JS 1.4kg/㎡	CT-3000JS 1.4kg/㎡	150mmピッチ				



施工上の注意事項

- 下記の材料には、パーメック NR(K)04 を添加して使用して下さい。
(パーメック NR(K)04 の添加量は 18 ページを参照)
CT-3000JS、CT-3000 中塗り、CT-3000 トップコート
- CT ワックスの添加量は 4 ~ 6% です。
- 工程 1 の CT プライマーの塗布後 12 時間以上経過したり、降雨等の水分と接すると接着力が低下しますので注意して下さい。
このような場合には、サンディング等を行って除去し、再度 CT プライマーを塗布して下さい。
- タイル、モルタル仕上げの場合には、下記の注意事項を守って下さい。
 - 平場用の珪砂の散布は、前工程の FRP 樹脂の施工直後に行い、FRP 樹脂の硬化後に余剰な珪砂を清掃して下さい。
 - 立上り用のトンボを取り付けるには、CT-3000JS にタルクを 1:1 の配合混合したバテ材 (要パーメック NR(K)04 の添加) を使用して下さい。
 - 仕上げしてからトンボを取り付ける部分を研磨してからエポキシ系接着剤で張り付けることも可能です。



注 意 事 項

- 防水保証については、事前にメーカーへご相談下さい。
- 完成後のメンテナンスについては、メーカーへご相談下さい。



FRP 材料に含まれている「スチレン」は、室内においては
特定化学物質となりますので下記の措置が必要となります。

- 1 発散の抑制措置 (局所排気装置等の設置)
- 2 立入り禁止措置 (関係者以外の立入り禁止とその旨の表示)
- 3 特定化学物質作業主任者の選任
- 4 作業場に取り扱い上の注意事項等の掲示

※その他、ご不明な点があればご相談下さい。



■ 厨房・一般床防水工法 (スチレン樹脂、

ビニルエステル樹脂)

1 プライ工法

仕様名	適用箇所	工程 1	工程 2	工程 3	工程 4	工程 5	工程 6
T-1-N	厨房・一般床 (粗面仕上げ)	CTプライマー	CT-100R	ガラスマット# 450 0.48kg/㎡	CT-3000 中塗り 又はCT-3000JS +CTトナー 0.4kg/㎡	珪砂 5～7号	CT-3000 トップコート
		0.15kg/㎡	0.4kg/㎡	CT-100R 1.6kg/㎡		1.0～2.0kg/㎡	0.5kg/㎡
T-1-F	厨房・一般床 排水溝 (平滑仕上げ)	CTプライマー	CT-100R	ガラスマット# 450 0.48kg/㎡	CT-3000 中塗り 又はCT-3000JS +CTトナー 0.4kg/㎡	CT-3000 トップコート	
		0.15kg/㎡	0.4kg/㎡	CT-100R 1.6kg/㎡		0.4kg/㎡	

2 プライ工法

仕様名	適用箇所	工程 1	工程 2	工程 3	工程 4	工程 5	工程 6	工程 7
T-2-N	厨房・一般床 (粗面仕上げ)	CTプライマー	CT-100R	ガラスマット# 380 0.4kg/㎡	ガラスマット# 380 0.4kg/㎡	CT-3000 中塗り 又はCT-3000JS +CTトナー 0.4kg/㎡	珪砂 5～7号	CT-3000 トップコート
		0.15kg/㎡	0.4kg/㎡	CT-100R 1.4kg/㎡	CT-100R 1.4kg/㎡		1.0～2.0kg/㎡	0.5kg/㎡
T-2-F	厨房・一般床 (平滑仕上げ)	CTプライマー	CT-100R	ガラスマット# 380 0.4kg/㎡	ガラスマット# 380 0.4kg/㎡	CT-3000 中塗り 又はCT-3000JS +CTトナー 0.4kg/㎡	CT-3000 トップコート	
		0.15kg/㎡	0.4kg/㎡	CT-100R 1.4kg/㎡	CT-100R 1.4kg/㎡		0.4kg/㎡	
T-2-M	厨房・一般床 排水溝 平場用 (モルタル仕上げ)	CTプライマー	CT-100R	ガラスマット# 380 0.4kg/㎡	ガラスマット# 380 0.4kg/㎡	CT-3000JS +CTワックス	珪砂 4号	モルタル仕上げ
		0.15kg/㎡	0.4kg/㎡	CT-100R 1.4kg/㎡	CT-100R 1.4kg/㎡	0.4kg/㎡	1.0kg/㎡	別途工事
TW-2-M	厨房・一般床 排水溝 立上り用 (モルタル仕上げ)	CTプライマー	CT-100R	ガラスマット# 380 0.4kg/㎡	ガラスマット# 380 0.4kg/㎡	トンボ	CT-3000JS +CTワックス	モルタル仕上げ
		0.15kg/㎡	0.4kg/㎡	CT-100R 1.4kg/㎡	CT-100R 1.4kg/㎡	150mmピッチ	0.4kg/㎡	別途工事

施工上の注意事項

- 下記の材料には、パーメック NR (K) 04 を添加して使用して下さい。
(パーメック NR (K) 04 の添加量は 18 ページを参照)
CT-100R、CT-3000JS、CT-3000 中塗り、CT-3000 トップコート
- CT-3000 トップコートの代わりに CT-3000JS+CTトナー+CTワックスとする場合は、色むら、隠蔽力不足等の不具合が起こる場合がございますので注意下さい。
配合は、CT-3000JS (18kg) 1 缶に対して、CTトナー (1kg) 1 缶、CTワックス 900g です。
- CT-3000 中塗りの代わりに CT-3000JS+CTトナーとする場合は、色むら、隠蔽力不足等の不具合が起こる場合がございますので注意下さい。
配合は、CT-3000JS (18kg) 1 缶に対して、CTトナー (1kg) 1 缶です。
- 工程 1 の CT プライマーの塗布後 12 時間以上経過したり、降雨等の水分と接すると接着力が低下しますので注意して下さい。
このような場合には、サンディング等を行って除去し、再度 CT プライマーを塗布して下さい。
- モルタル仕上げの場合には、下記の注意事項を守って下さい。
① 平場用の珪砂の散布は、前工程の FRP 樹脂の施工直後に行い、FRP 樹脂の硬化後に余剰な珪砂を清掃して下さい。
② 立上り用のトンボを取り付けるには、CT-3000JS にタルクを 1:1 の配合混合したパテ剤 (要:パーメック NR (K) 04 の添加) を使用して下さい。
③ 仕上げてからトンボを取り付ける部分を研磨してからエポキシ系接着剤で張り付けることも可能です。
- 平滑仕上げの場合には、最終仕上げの前にバリ取りを行って下さい。



注意事項

- 防水保証については、事前にメーカーへご相談下さい。
- 完成後のメンテナンスについては、メーカーへご相談下さい。
- 厨房床では、漂白剤の使用により変色する場合がありますので別途メーカーへご相談下さい。



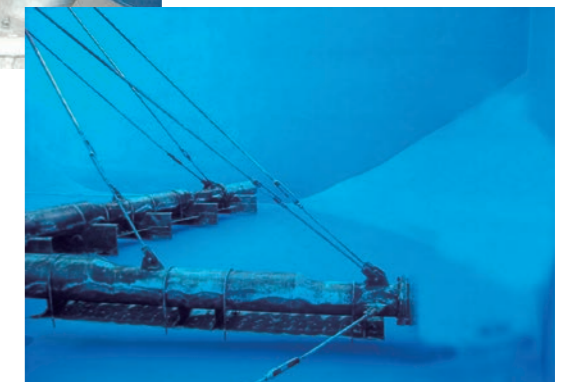
FRP 材料に含まれている「スチレン」は、室内においては特定化学物質となりますので下記の措置が必要となります。

- 1 発散の抑制措置 (局所排気装置等の設置)
- 2 立入り禁止措置 (関係者以外の立入り禁止とその旨の表示)
- 3 特定化学物質作業主任者の選任
- 4 作業場に取り扱い上の注意事項等の掲示

※その他、ご不明な点があればご相談下さい。

■ 防食床・防食工法 (ビニルエステル樹脂)

仕様名	適用箇所	工程 1	工程 2	工程 3	工程 4	工程 5	工程 6	工程 7	工程 8
L-1-N	防食用一般床 (粗面仕上げ)	CTプライマー 0.15kg/㎡	CT-3000JS 0.4kg/㎡	ガラスマット# 450 0.48kg/㎡ CT-3000JS 1.6kg/㎡	CT-3000 中塗り 又はCT-3000JS +CTトナー 0.4kg/㎡	珪砂 5~7号 0.8kg/㎡	CT-3000 トップコート 0.4kg/㎡		
L-1-F	防食用一般床 (平滑仕上げ)	CTプライマー 0.15kg/㎡	CT-3000JS 0.4kg/㎡	ガラスマット# 450 0.48kg/㎡ CT-3000JS 1.6kg/㎡	CT-3000 中塗り 又はCT-3000JS +CTトナー 0.4kg/㎡	CT-3000 トップコート 0.4kg/㎡			
L-2-N	化学工場床 食品工場床 (粗面仕上げ)	CTプライマー 0.15kg/㎡	CT-3000JS 0.4kg/㎡	ガラスマット# 380 0.4kg/㎡ CT-3000JS 1.4kg/㎡	ガラスマット# 380 0.4kg/㎡ CT-3000JS 1.4kg/㎡	CT-3000 中塗り 又はCT-3000JS +CTトナー 0.4kg/㎡	珪砂 5~7号 0.8kg/㎡	CT-3000 トップコート 0.4kg/㎡	
L-2-F	化学工場床 食品工場床 (平滑仕上げ)	CTプライマー 0.15kg/㎡	CT-3000JS 0.4kg/㎡	ガラスマット# 380 0.4kg/㎡ CT-3000JS 1.4kg/㎡	ガラスマット# 380 0.4kg/㎡ CT-3000JS 1.4kg/㎡	CT-3000 中塗り 又はCT-3000JS +CTトナー 0.4kg/㎡	CT-3000 トップコート 0.4kg/㎡		
L-1S-F	水槽・防油堤 (平滑仕上げ)	CTプライマー 0.15kg/㎡	CT-3000JS 0.4kg/㎡	ガラスマット# 450 0.48kg/㎡ CT-3000JS 1.6kg/㎡	サーフェスマット 0.033kg/㎡ CT-3000JS 0.6kg/㎡	CT-3000 中塗り 又はCT-3000JS +CTトナー 0.4kg/㎡	CT-3000 トップコート 0.4kg/㎡		
L-2S-F	薬液槽 (平滑仕上げ)	CTプライマー 0.15kg/㎡	CT-3000JS 0.4kg/㎡	ガラスマット# 450 0.48kg/㎡ CT-3000JS 1.6kg/㎡	ガラスマット# 450 0.48kg/㎡ CT-3000JS 1.6kg/㎡	サーフェスマット 0.033kg/㎡ CT-3000JS 0.6kg/㎡	CT-3000 中塗り 又はCT-3000JS +CTトナー 0.4kg/㎡	CT-3000 トップコート 0.4kg/㎡	
L-3S-F	雑廃槽 重防食槽 (平滑仕上げ)	CTプライマー 0.15kg/㎡	CT-3000JS 0.4kg/㎡	ガラスマット# 450 0.48kg/㎡ CT-3000JS 1.6kg/㎡	ガラスマット# 450 0.48kg/㎡ CT-3000JS 1.6kg/㎡	ガラスマット# 450 0.48kg/㎡ CT-3000JS 1.6kg/㎡	サーフェスマット 0.033kg/㎡ CT-3000JS 0.6kg/㎡	CT-3000 中塗り 又はCT-3000JS +CTトナー 0.4kg/㎡	CT-3000 トップコート 0.4kg/㎡
FL-3-F	フレークライニング 防食塗装 (平滑仕上げ)	CTプライマー 0.15kg/㎡	CTフレーク 0.4kg/㎡	CTフレーク 0.4kg/㎡	CTフレーク トップコート 0.2kg/㎡				



- FRPライニングに仕様するCT-3000JSは下水道事業団C種及びD種に対応するビニルエステル樹脂です。
- 下記の材料には、パーメックNR(K)04を添加して使用して下さい。
(パーメックNR(K)04の添加量は18ページを参照)
CT-3000JS、CT-3000中塗り、CT-3000トップコート、CTフレークトップコート
CT-フレークには、硬化剤328Eを添加して使用して下さい。
- CT-3000トップコートの代わりにCT-3000JS+CTトナー+CTワックスとする場合は、色むら、隠蔽力不足等の不具合が起こる場合があるので
ご注意下さい。
配合は、CT-3000JS(18kg)1缶に対して、CTトナー(1kg)1缶、CTワックス900gです。
- CT-3000中塗りの代わりにCT-3000JS+CTトナーとする場合は、色むら、隠蔽力不足等の不具合が起こる場合があるのでご注意下さい。
配合は、CT-3000JS(18kg)1缶に対して、CTトナー(1kg)1缶です。
- 工程1のCTプライマーの塗布後12時間以上経過したり、降雨等の水分と接すると接着力が低下しますので注意して下さい。
このような場合には、サンディング等を行って除去し、再度CTプライマーを塗布して下さい。
- 平場用の珪砂の散布は、前工程のFRP樹脂の施工直後に行い、FRP樹脂の硬化後に余剰な珪砂を清掃して下さい。
- 平滑仕上げの場合には、最終仕上げの前にバリ取りを行って下さい。

注意事項

- 工法及びビニルエステル樹脂を選定するためには、使用する薬品の種類、濃度、温度をご連絡して下さい。
- 適用箇所による仕様の選定は、メーカーへご相談下さい。
- 防食床・防食工法は、防水保証ができませんのでご了承下さい。
- トップコートは経年により劣化すると共に、膨れ、黒点等が発生することがあります。
- 適用箇所によっては、CT-5000(ノボラック型ビニルエステル樹脂)を使用することがありますので、ご相談下さい。
注) CT-5000を使用する場合には、CTコバルトを0.3~1.0%混合攪拌した後、更にパーメックNR(K)04(硬化剤)を混合攪拌して下さい。

■ 下水道事業団対応工法 (ビニルエステル樹脂)

下水道事業団対応工法

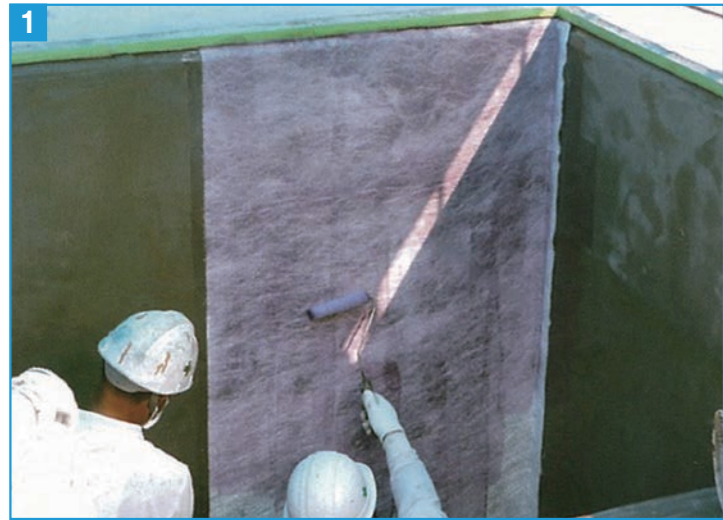
仕様名	適用箇所	工程 1	工程 2	工程 3	工程 4	工程 5	工程 6
C種 L-1S-F	下水道処理施設 (平滑仕上げ)	CTプライマーJS	CTパテJS	ガラスマット# 450 0.48kg/㎡	サーフェスマット 0.033kg/㎡	CT-3000 トップコートJS	
		0.2kg/㎡	0.5kg/㎡	CT-3000JS 1.1kg/㎡	CT-3000JS 0.4kg/㎡	0.2kg/㎡	
D種 L-2S-F	下水道処理施設 (平滑仕上げ)	CTプライマーJS	CTパテJS	ガラスマット# 450 0.48kg/㎡	ガラスマット# 450 0.48kg/㎡	サーフェスマット 0.033kg/㎡	CT-3000 トップコートJS
		0.2kg/㎡	0.5kg/㎡	CT-3000JS 1.1kg/㎡	CT-3000JS 1.1kg/㎡	CT-3000JS 0.4kg/㎡	0.2kg/㎡

施工上の注意事項

1. 下記の材料には、パーメックNR(K)04を添加して使用して下さい。
(パーメックNR(K)04の添加量は18ページを参照)
CT-3000JS、CT-3000トップコートJS、CTパテJS

注意事項

- ① 保証については、事前にメーカーへご相談下さい。
- ② 完成後のメンテナンスについては、メーカーへご相談ください。

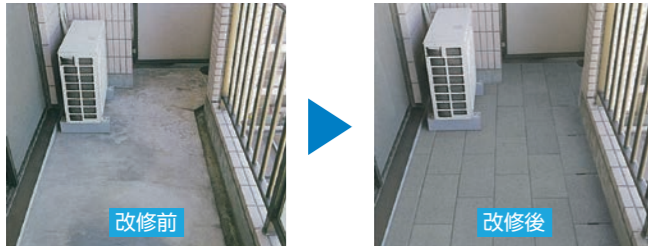


不燃認定仕様

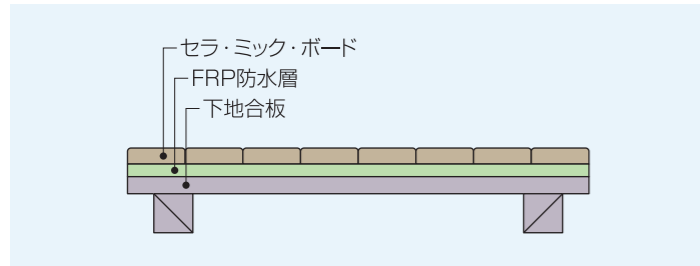
国土交通大臣認定仕様
認定番号：NM-3838

耐火化粧板による簡単工事で快適空間を作ります。

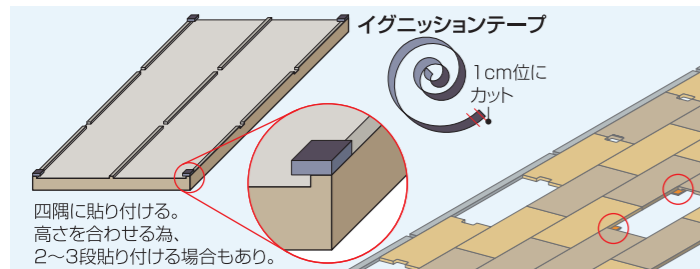
- コロテクトシステムによる高い防水性能
- FRC 製耐火化粧板がもたらす優れた耐火性能と耐久性
- 置くだけの簡単な工事（乾式工法）



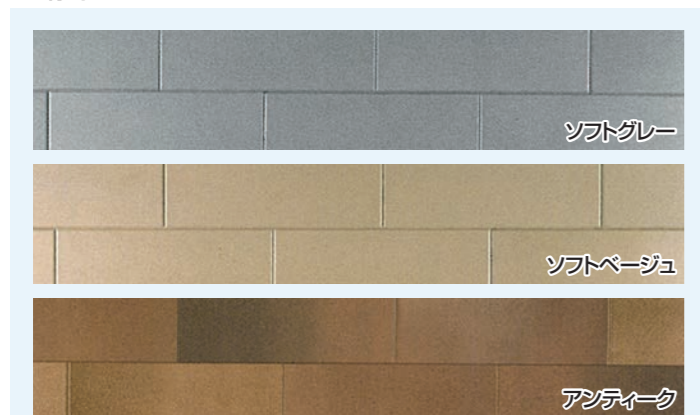
構成図



不陸調整



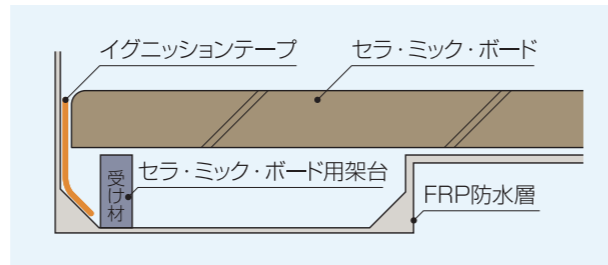
標準色



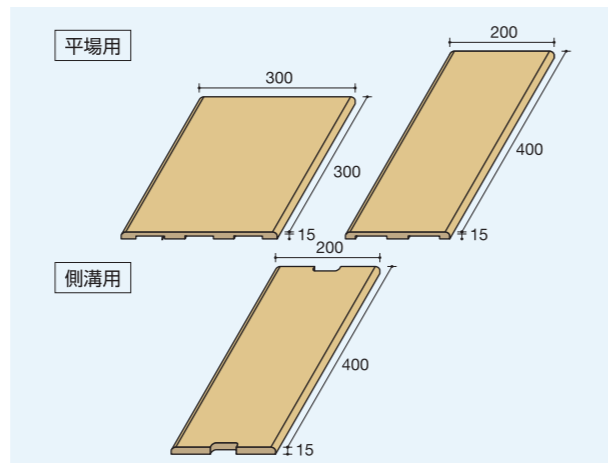
※ 現品はこの写真とは多少異なる場合がございます。
※ セラミックボードは富士スレート株式会社より購入をお願い致します。
購入先：富士スレート株式会社 大阪支店
TEL 072-633-2060 / FAX 072-633-2062



側溝端部



製品仕様



飛び火性能

飛び火試験

火災が生じた際、火の粉などによる周囲への火災の被害を防ぐために、建築基準法では防火関連法規（地域・屋根の構造・屋根材の規定など）を定めています。

■ 建築物が防火地域、準防火地域にある場合の屋根構造

屋根については、建築基準法63条に基づき、建築物の屋根構造を定めています。建設省公示第1365号の方法を用いるか、または、国土交通大臣認定を受けた仕様とします。

■ 建設省公示第1365号(平成12年5月25日)*1

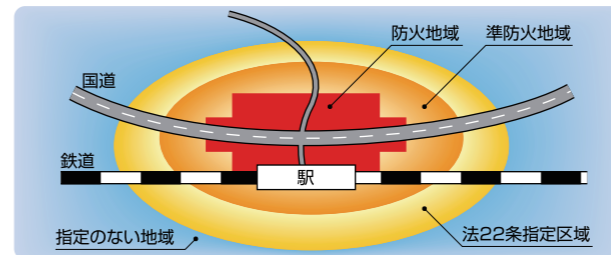
建築基準法第63条の規定に基づき、防火地域又は準防火地域内の建築物の屋根の構造方法を次のように定める。

防火地域又は準防火地域内の建築物の屋根の構造方法を定める件

- 第1 建築基準法施行令第136条の2の2各号に掲げる技術的基準に適合する屋根の構造方法は、次に定めるものとする。
- 1 不燃材料で造るか、又はふくこと。
 - 2 屋根を準耐火構造（屋外に面する部分を準不燃材料で造ったものに限る。）とする。
 - 3 屋根を耐火構造（屋外に面する部分を準不燃材料で造ったもので、かつ、その勾配が水平面から30度以内のものに限る。）の屋外面に断熱材（ポリエチレンフォーム、ポリスチレンフォーム、硬質ポリウレタンフォームその他これらに類する材料を用いたもので、その厚さの合計が50ミリメートル以下のものに限る。）及び防水材（アスファルト防水工法、塩化ビニル樹脂系シート防水工法、ゴム系シート防水工法又は塗膜防水工法*2を用いたものに限る。）を張ったものとする。
- 第2 建築基準法施行令第136条の2の2第一号に掲げる技術的基準に適合する屋根の構造方法は、第1に定めるもののほか、難燃材料で造るか、又はふくこと。

地域の区分

防火地域（建築基準法61条）、準防火地域（建築基準法62条）は都市計画法によって、市街地における火災の危険を防ぐために指定した地域です。22条指定区域は特定行政庁が防火地域、準防火地域以外の市街地について指定した地域です。



*1 本告示に該当する構造及び防水工法は防火地域、準防火地域(第63条の規定)、市街化地域(第22条の規定)において飛び火認定は不要です。
*2 平成27年1月21日より塗膜防水工法にFRP塗膜防水工法も該当することになりました。

飛び火性能認定詳細一覧

仕様名	DR-0363	DR-0366	DR-0369	DR-0372	DR-0375	DR-0378	
FRP 防水	CT-2-N (防火) ※						
	工程7	CT カラートップ N (防火用) 「1004 ライトグレー・1007 グレー・442 グリーンのみ」			0.4kg/㎡		
	工程6	CT-2000			0.4kg/㎡		
	工程5	ガラスマット #380 張付け CT-100R			1.4kg/㎡		
	工程4	ガラスマット #380 張付け CT-100R			1.4kg/㎡		
	工程3	CT-100R			0.4kg/㎡		
	工程2	CT バテ (補強材の目地処理材)			—		
工程1	CT プライマー			0.15kg~/㎡			
補強材	<ul style="list-style-type: none"> 木質系ボード 厚さ：9mm以上 ・普通合板 (JAS) ・構造用合板 (JAS) ・OSB (JAS 構造用パネル) 		<ul style="list-style-type: none"> 繊維混入 けい酸カルシウム板 (JISA5430 不燃材料) 厚さ：9mm以上 		<ul style="list-style-type: none"> 木質系ボード 厚さ：9mm以上 ・普通合板 (JAS) ・構造用合板 (JAS) ・OSB (JAS 構造用パネル) 繊維混入 けい酸カルシウム板 (JISA5430 不燃材料) 厚さ：9mm以上 		
断熱材	—			ポリスチレンフォーム 厚さ：~150mm			
下地	<ul style="list-style-type: none"> 野地板 厚さ：9mm以上 ・普通合板 (JAS)・構造用合板 (JAS) ・OSB (JAS 構造用パネル) 支持部材 (たる木) 一般製材 (JAS) 大きさ：幅 30mm×高さ 40mm以上 施工間隔：455mm以下 くき又はねじ 野地板の留め付け用 鋼製くき (JISA5508) 又は鋼製ねじ 長さ：40mm以上径：4mm以上 			<ul style="list-style-type: none"> コンクリート下地 厚さ：50mm以上 ・ALC (軽量気泡コンクリートパネル) ・PC (プレキャストコンクリート) ・RC (鉄筋コンクリート) 		<ul style="list-style-type: none"> 野地板 厚さ：9mm以上 ・普通合板 (JAS)・構造用合板 (JAS) ・OSB (JAS 構造用パネル) 支持部材 (たる木) 一般製材 (JAS) 大きさ：幅 30mm×高さ 40mm以上 施工間隔：455mm以下 くき又はねじ 野地板の留め付け用 鋼製くき (JISA5508) 又は鋼製ねじ 長さ：40mm以上径：4mm以上 	

認定を受けた仕様は、防火地域、準防火地域、22条指定地域での適用が可能です。
施工上の注意事項 1. 下記の材料には、パーメック NR (K) O4 を添加して使用して下さい。(パーメック NR (K) O4 の添加量は 22 ページを参照) CT-100R、CTバテ、CT-2000、CT カラートップ N (防火用)
2. 工程 1 の CT プライマーの塗布後 12 時間以上経過したり、降雨等の水分と接すると接着力が低下しますので注意して下さい。この様な場合には、サンディング等を行って除去し、再度CTプライマーを塗布して下さい。
3. CT カラートップ N (防火用) 塗布前にバリ取りを行なって下さい。

■ 建築工事標準仕様書

JASS8-2022

FRP 系塗膜防水工法・密着仕様 (L-FF)

部位		平場 (RC 下地) (勾配 1/50 ~ 1/20)	立上り (RC 下地)
工 程	工程 -1	プライマー塗り [0.2kg /㎡]	プライマー塗り [0.2kg /㎡]
	工程 -2	防水用ポリエステル樹脂塗り [0.4kg /㎡]	防水用ポリエステル樹脂塗り [0.2kg /㎡]
	工程 -3	防水用ガラスマット #380 張付け (防水用ポリエステル樹脂) [1.4kg /㎡]	防水用ガラスマット #380 張付け (防水用ポリエステル樹脂) [1.2kg /㎡]
	工程 -4	防水用ガラスマット #380 張付け (防水用ポリエステル樹脂) [1.4kg /㎡]	防水用ガラスマット #380 張付け (防水用ポリエステル樹脂) [1.2kg /㎡]
	工程 -5	防水用ポリエステル樹脂塗り* [0.4kg /㎡]	防水用ポリエステル樹脂塗り* [0.2kg /㎡]
部位		仕上塗料	仕上塗料 (平場と同一材料とする)
工 程	工程 -1	仕上塗料塗り [0.4kg /㎡]	仕上塗料塗り [平場と同一使用量とする]

- 注 (1) RC 打継ぎ目地部の処理は特記による。
 (2) 防水用ポリエステル樹脂は、JASS8M-101-2014 に規定された防水用ポリエステル樹脂とする。
 (3) 防水用ガラスマット #380 は、JASS8M-102-2014 に規定された防水用ガラスマットとする。
 (4) 防水用ポリエステル樹脂の使用量は、硬化後の防水層の厚さの目安を平場で約 2.5mm、立上りで約 2mmとして、表中の量を確保する。
 (5) *印の防水用ポリエステル樹脂には、トナーを添加する。トナーの種類・添加量は防水材製造業者の指定による。
 (6) 仕上塗料は不特定多数の歩行に耐える高い摩擦性と耐衝撃性を有しており、防水材製造所が指定するものとする。
 (7) 仕上塗料には耐候性、耐久性に優れた軽度の歩行に耐えられるタイプもある。

部位	平場用		立上り用
	歩行用		
適用工法	CB-2-N		CBW-2-N
工 法	工法 1	CT プライマー 0.2kg/㎡	CT プライマー 0.2kg/㎡
	工法 2	CT-100R 0.4kg/㎡	CT-100R 0.2kg/㎡
	工法 3	ガラスマット #380 (FBK 用) 張付け CT-100R 1.4kg/㎡	ガラスマット #380 (FBK 用) 張付け CT-100R 1.2kg/㎡
	工法 4	ガラスマット #380 (FBK 用) 張付け CT-100R 1.4kg/㎡	ガラスマット #380 (FBK 用) 張付け CT-100R 1.2kg/㎡
	工法 5	CT-100R +CTトナー 0.4kg/㎡	CT-100R +CTトナー 0.2kg/㎡
	工法 6	CT カラートップ N 0.4kg/㎡	CT カラートップ N 0.4kg/㎡

施工上の注意事項

- 下記の材料には、パーメック NR (K) 04 を添加して使用して下さい。(パーメック NR (K) 04 の添加量は 22 ページを参照)
CT-100R、CT カラートップ N
- パラフィン (CT ワックス) の添加量は、4 ~ 6% です。
- CTトナーの添加量は、CT-100R (20kg) 1 缶に対して、1 缶 (1kg) です。
- 工程 1 の CT プライマーの塗布後 12 時間以上経過したり、降雨等の水分と接すると接着力が低下しますので注意して下さい。
このような場合には、サンディング等を行って除去し、再度 CT プライマーを塗布して下さい。
- 工程 6 を施工する前にバリ取りを行って下さい。
- ガラスマット #380 は、必ず JASS8M-102-2014 に規定された「ガラスマット #380 (FBK 用)」を使用して下さい。

■ 使用可能時間および乾燥時間

■ CT-100R

温度		10 ~ 15℃	15 ~ 20℃	20 ~ 30℃	30 ~ 35℃
使用可能時間 ^{※1}	季節型 / S	—	—	57 ~ 18 分	18 ~ 10 分
	季節型 / M	—	73 ~ 42 分	42 ~ 10 分	—
	季節型 / W	95 ~ 48 分	48 ~ 28 分	28 ~ 10 分	—
乾燥時間 ^{※2}		3 ~ 8 時間	2 ~ 6 時間	1 ~ 5 時間	1 ~ 2 時間

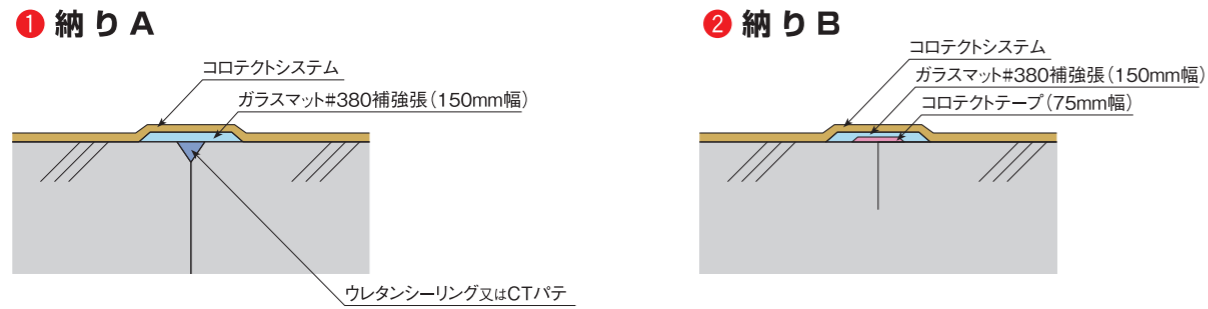
■ CT-3000JS

温度		10 ~ 15℃	15 ~ 20℃	20 ~ 30℃	30 ~ 35℃
使用可能時間 ^{※1}	季節型 / S・M	80 分~	50 ~ 80 分	30 ~ 50 分	20 ~ 30 分
	季節型 / W	30 ~ 45 分	20 ~ 30 分	~ 20 分	—
乾燥時間 ^{※2}		3 ~ 8 時間	2 ~ 6 時間	1 ~ 5 時間	1 ~ 2 時間

- ・上記時間は施工環境、使用条件により変わるため目安となります。
- ・接着可能時間の超過、降雨および汚れ等の影響を受けた場合は、研磨や洗浄が必要になります。
- ※ 1 可使時間。CT-100R・CT-3000JS とパーメック NR (K) 04 を混合後、塗布作業が可能な時間です。表はパーメック NR (K) 04 を 1% 添加した場合の使用可能時間となります。
- ※ 2 硬化時間。下地へ塗布後、次工程が可能な時間です。
- ・可使時間の詳細については、施工要領書をご確認ください。

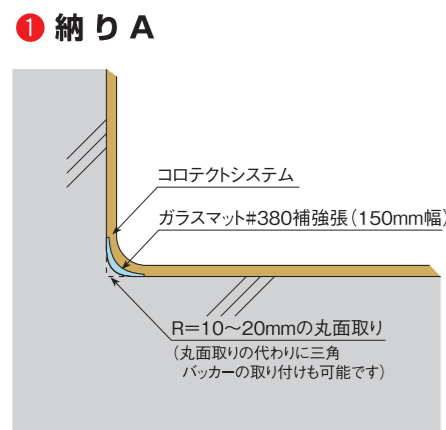
■ 納まり図例

ひび割れ【打継ぎ部(亀裂発生時)】

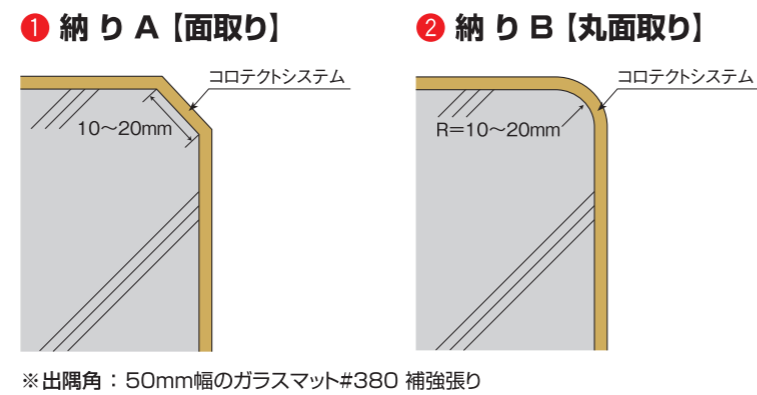


※クラック処理
 (1) 1mm未満の亀裂はそのままCTパテしごき充填
 (2) 1mm以上の亀裂はVカット後、ウレタンシーリング材又はCTパテを充填

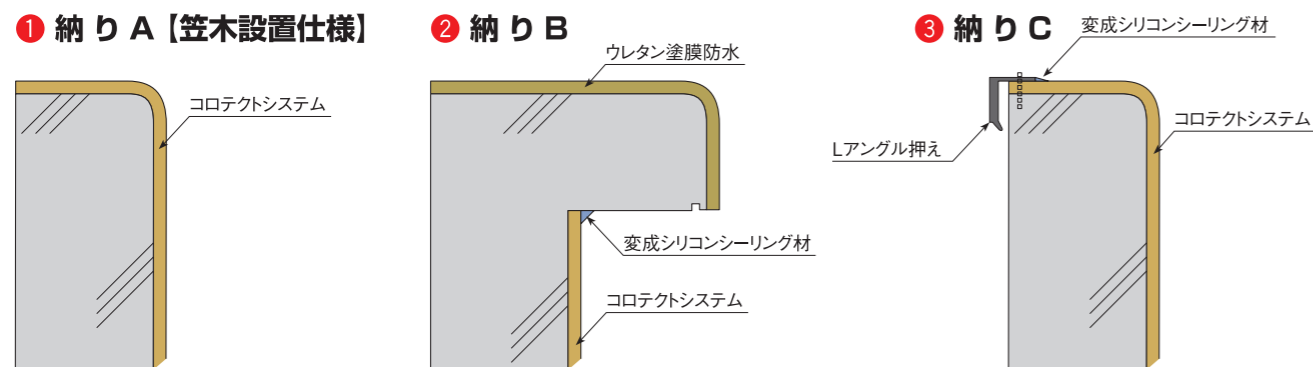
入隅部



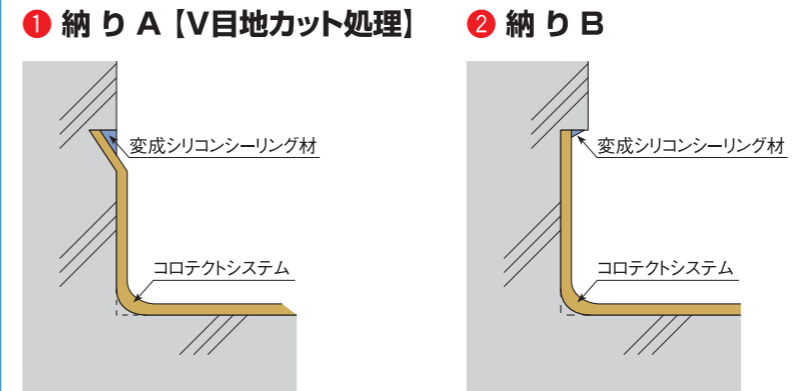
出隅部



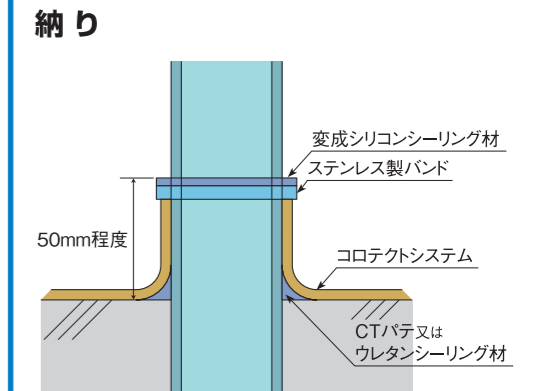
パラペット部



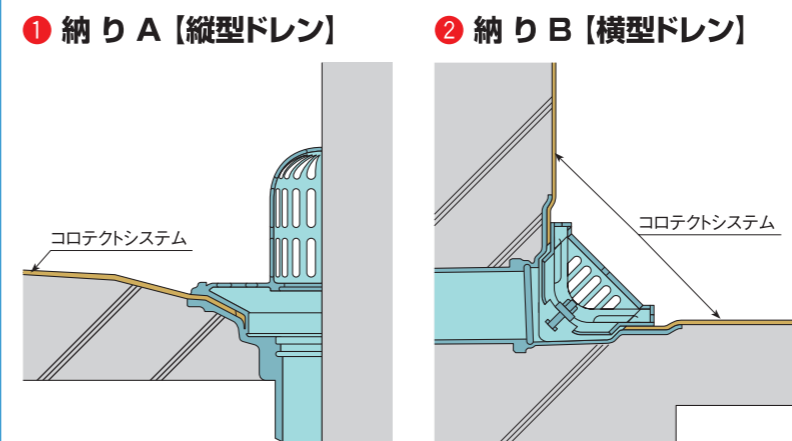
立上り壁部



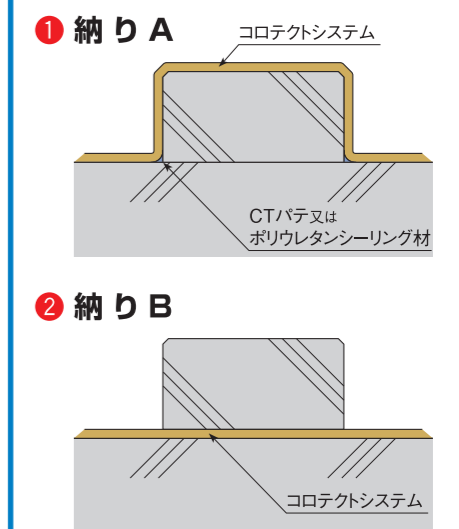
パイプ廻り



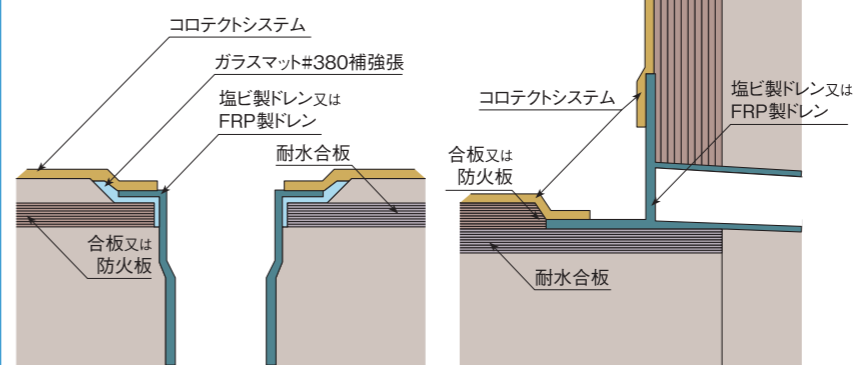
ドレン部



基礎廻り

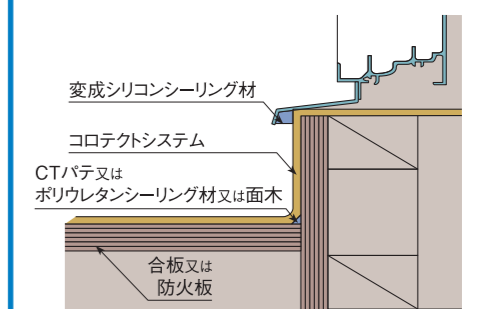


③ 納り C【木質下地 縦ドレン】 ④ 納り D【木質下地 横ドレン】



※納りA、Bについてはシート防水用ドレンをお扱い下さい。

サッシ廻り【木質下地】



※サッシは後付けて下さい。

CT-3000JS (ビスフェノール型 ビニ

ルエステル樹脂) の耐薬品性

薬品名	濃度 (%)	使用可能温度 (°C)					備考
		20	40	60	80	100	
塩 酸	10	80					
	20	80					
	37	40					
硫 酸	25	98					
	60	80					
	70	70					
	80	25					
硝 酸	5	70					
	20	50					
リン 酸	100	98					
ク ロ ム 酸	5	98					
	10	60					
過 塩 素 酸	20	50					
	30	40					
次 亜 塩 素 酸	10	65					
	20	50					
フッ化水素酸	10	不適合					ガラスマットが不適合
ホウ 酸	ALL	98					
臭 化 水 素 酸	25	80					
	48	60					
	62	40					
酢 酸	25	98					
	50	80					
	70	60					
	75	40					
ギ 酸	10	80					
	100	25					
ベンゼンスルホン酸	50	60					
ク ロ ム 酢 酸	25	50					
	50	40					
トリクロル酢酸	50	98					
シ ュ ウ 酸	ALL	98					
乳 酸	ALL	98					
酪 酸	50	98					
	75	70					
	100	25					
ク エ ン 酸	ALL	98					
オ レ イ ン 酸	ALL	98					
ス テ ア リ ン 酸	ALL	100					
酒 石 酸	ALL	98					
マ レ イ ン 酸	100	100					
フ タ ル 酸	ALL	98					
安 息 香 酸	飽和	98					
グ ル コ ン 酸	25	80					
	50	60					
スルファニル酸	ALL	98					
アルカリ	水酸化ナトリウム (苛性ソーダ)	25	70				
		50	50				
	水酸化カルシウム	15	80				
		飽和	98				
	水酸化バリウム	ALL	60				
	アンモニア水	5	80				
		20	60				
25		50					
29		40					
亜鉛メッキ液	ALL	60					

配合: シアン化亜鉛 9, シアン化ナトリウム 4, 苛性ソーダ 9

薬品名	濃度 (%)	使用可能温度 (°C)					備考
		20	40	60	80	100	
塩	塩化ナトリウム	飽和	90				
	炭酸アンモニウム	ALL	70				
	炭酸バリウム	ALL	98				
	炭酸マグネシウム	ALL	80				
	重炭酸カリウム	100	70				
	炭酸カリウム	10	70				
		50	60				
	重炭酸ナトリウム	飽和	70				
	炭酸ナトリウム	35	80				
	次亜塩素酸ナトリウム (次亜塩素酸ソーダ)	15	60				
	次亜塩素酸カルシウム	ALL	70				
	過硫酸アンモニウム	ALL	80				
	塩素酸カルシウム	ALL	98				
	塩素水	飽和	80				
	過マンガン酸カリウム	ALL	98				
	塩素酸ナトリウム	10	60				
	二酸化塩素	ALL	70				
	硫化水素	5	100				
		100	80				
	P A C (ポリ塩化アルミニウム)	50	40				
100		40					
温泉	ALL	80					
海水	ALL	100					
有機化合物	ナフタレン	100	80				
	メチルアルコール	5	50				
		50	35				
		80	25				
	エチルアルコール	10	50				
		50	40				
		95	25				
	ブチルアルコール	ALL	50				
	アミルアルコール	ALL	50				
	エチレングリコール	ALL	98				
	プロピレングリコール	ALL	98				
	グリセリン	100	100				
	ホルムアルデヒド	ALL	70				
	原油	100	100				
	石油	100	100				
	ガソリン	100	80				
	軽油	100	80				
	アマニ油	100	80				
	オリーブ油	100	100				
	大豆油	100	100				
ヒマシ油	100	60					

薬品名	濃度 (%)	使用可能温度 (°C)					備考
		20	40	60	80	100	
有機化合物	鉱物油	100	100	[Bar chart showing 100% compatibility]			
	燃料油	100	80	[Bar chart showing 80% compatibility]			
	牛乳	100	70	[Bar chart showing 70% compatibility]			
	シヨ糖	ALL	98	[Bar chart showing 98% compatibility]			
	醤油	ALL	70	[Bar chart showing 70% compatibility]			
	酢	100	98	[Bar chart showing 98% compatibility]			
	動物性脂肪	100	80	[Bar chart showing 80% compatibility]			
	トマトソース	ALL	90	[Bar chart showing 90% compatibility]			
	ビール	100	50	[Bar chart showing 50% compatibility]			
	肥料	ALL	50	[Bar chart showing 50% compatibility]			硫酸アンモニウム44.4、尿素35.4、水20.3 リン酸30、アンモニア29、水104.3、 尿素10.4、苛性カリウム26、ホウ砂3
その他	蒸留水	100	80	[Bar chart showing 80% compatibility]			

使用可能温度の評価基準:ASTM:C581-68 による試験片作製、ASTM:C581-68 及び注型品の耐食試験、実績、社内試験結果に基づく

注意:上記数値は、使用可否の目安とする数値であり、防食性能を保証するものではありません。

プライマー

FRP防水を施工するときに使用するプライマーは、下地の種類により処理方法が異なります。

下地の種類	プライマー製品名	荷姿	塗布量	適用	処理方法
コンクリート	CTプライマー	16kg/缶	0.15kg~/㎡	一般用	1成分形のため、開封後すぐに塗布する。
金属面 (アルミ・ステンレス・亜鉛等)	CTプライマーS	5kg/セット	0.15~ 0.2kg/㎡	—	2成分形のため、所定の配合で混合し、塗布する。

トップコートの塗り替え

FRP防水層(コロテクトシステム)のトップコートを塗り替える場合には、下記の方法で行って下さい。

1 既存FRP防水層のトップコートがポリエステル樹脂(CTカラートップ)の場合には、

1-1. トップコートに不具合が発生していない

① CTカラートップで塗り替える時

工程 1	既存のトップコートを撤去(ガラスマットが見えるまで削る)
工程 2	清掃・アセトン又はメチクロ拭き
工程 3	CT-3000JSをプライマーとして塗布する
工程 4	ガラスマット或いはサーフェスマットを張り、ビニルエステル樹脂を塗布する
工程 5	CTカラートップを塗布する

② コンボトップAUで塗り替える時

工程 1	既存のトップコートを水洗いする
工程 2	乾燥養生
工程 3	コンボトップAUを塗布する

1-2. トップコートに不具合が発生している

工程 1	既存のトップコートと中塗りを撤去(ガラスマットが見えるまで削る)
工程 2	清掃・アセトン又はメチクロ拭き
工程 3	CT-3000JSをプライマーとして塗布する
工程 4	ガラスマット或いはサーフェスマットを張り、ビニルエステル樹脂を塗布する
工程 5	CTカラートップを塗布する

2 既存FRP防水層のトップコートがアクリルウレタン樹脂(コンボトップAU)の場合には、

2-1. トップコートに不具合が発生していない

工程 1	既存のトップコートを水洗いする
工程 2	乾燥養生・清掃・アセトン又はメチクロ拭き
工程 3	層間プライマーJを塗布する
工程 4	コンボトップAUを塗布する

2-2. トップコートに不具合が発生している

工程 1	高圧洗浄
工程 2	浮き部分をサンダー掛けで撤去し、補修する
工程 3	清掃・養生
工程 4	層間プライマーJを塗布する
工程 5	コンボトップAUを塗布する

注)浴室防水工法の場合には、1-2の工法を採用し、工程4をCT-3000JSでガラスマット或いはサーフェスマット張り、工程5をCT-3000中塗り塗布、工程6をCT-3000トップコート塗布として下さい。
※CTトナーの使用は、色むら、隠蔽力不足等の不具合が起こる場合があるのでご注意下さい。

基本物性

FRP樹脂及びFRP防水層の基礎物性

項目	樹脂条件	CT-100R	CT-2000	CT-3000JS
引張強さ	N/㎡	22	78	107
曲げ強さ	N/㎡	—	132	147
伸び率	%	94	4.5	4.6
バーコル硬度	J-934-1	15	37	40

FRP防水層の下地ひび割れ追従性

項目	樹脂条件	CT-100R	CT-3000JS	試験方法
		ガラスマット含有率	ガラスマット含有率	
		20%	20%	
破壊荷重	N/㎡	56.8	218.7	試験体:ガラスマット#450 1プライ 引張速度:10mm/min.
伸び量	mm	1.8	0.8	

トップコートの耐候性

試験条件	樹脂	CTカラートップF		コンボトップAU		試験方法
		光沢保持率 (%)	色差 (ΔE)	光沢保持率 (%)	色差 (ΔE)	
サンシャインウェザオメーター 500時間		90 光沢低下は 目立たない	1.26 変色は 目立たない	94 光沢低下は 殆ど分らない	0.3 変色は殆ど 分らない	CT-2000 / CT-2500の上に トップコートを塗布し、促進耐候性試験を 実施しました。
サンシャインウェザオメーター 1000時間		79 僅かな 光沢低下	2.38 僅かな 変色	88 僅かな 光沢低下	0.8 変色は殆ど 分らない	

■ 注意事項

バルコニーにおける FRP 防水層を維持管理する上での注意事項

FRP防水層の機能を長期にわたって維持する為に、下記の注意事項を遵守してください。

使用上の注意事項

- ① 防水層の上では火気の使用は厳禁です。(喫煙・花火・バーベキューなど) 防水層を燃焼させたり変質させたりして、漏水の原因になる事があります。
- ② 防水層の上に有機溶剤(ガンリン・灯油等) 薬品類(殺菌剤・防藻剤等)・不凍液などをこぼさないで下さい。防水層に異常をきたし、機能を損なう恐れがあります。
- ③ 防水層の上で重量物を引きずったり、角鉄材など損傷を与える物を落とさないで下さい。防水層が剥離したり損傷を受けます。
- ④ 防水層の上に角のある物や避雷針・テレビアンテナ・空調設備・物干し台・鉢植え等を設置する場合は、防水層を損傷しないよう下にゴム板等の下敷材を敷いて養生して下さい。またイスやテーブルのような軽い物でも、脚をゴムキャップなどで保護して下さい。
- ⑤ 防水層の上に土を置き植物を植える場合は建築会社に相談してください。
- ⑥ 防水層の上に生活排水等を直接流さないで下さい。防水層の劣化を早める恐れがあります。また、防水層の上に冷却排水等が常時滞留することのないようにして下さい。コケなどが発生して防水層に悪影響を与える恐れがあります。
- ⑦ 防水層の上で運動や工作作業をする場合は刃物・カッター等で傷付けたり、尖った物、重量のある物で衝撃を与えないよう注意して下さい。防水層を傷つける恐れがあります。
- ⑧ 防水層の上でゴルフの練習や車輪等を使用する遊び(一輪車・ローラースケート等)はやめて下さい。防水層を傷つける恐れがあります。
- ⑨ 防水層の上で犬、鶏などの動物の飼育をしないで下さい。動物がツメや歯で防水層を傷付けたり、排泄物が防水層を劣化させる恐れがあります。
- ⑩ 防水層の上の雪を除去する場合は、防水層に傷を付けないよう注意して作業して下さい。
- ⑪ 防水層の上を歩行する場合は、防水層を損傷する履物は使用しないで下さい。スパイクなどは防水層を傷つける恐れがあります。
- ⑫ 防水層は降雨・降雪時、あるいは表面が水で濡れている場合は滑りやすいことがあるので注意して下さい。歩行する場合は、凹凸の模様のあるゴム底などの滑りにくい履物を使用して下さい。

維持・管理上の注意事項

- ① 防水面は定期的に清掃してください。清掃は、ほうき、デッキブラシ、スポンジ、雑巾等で行って下さい。スチールたわし・ワイヤーブラシ等の使用は避けてください。また洗剤は中性洗剤を使用して下さい。
- ② 定期的にドレンまわりと排水溝のゴミ、枯れ葉など堆積物を除去し排水につまりが無いようにして下さい。
- ③ 定期的に表面状態の点検を行って下さい。表面の保護仕上げ層に異常が認められる場合は施工業者に連絡して下さい。
- ④ 防水層に損傷を与えた場合や異常が発生した場合は速やかに建築会社に連絡して下さい。
- ⑤ 防水層の長期維持の為、定期的に仕上材(メーカーの指定材料)を塗り替えることをお勧めします。
- ⑥ 防水に関わるバルコニーやその周辺の増築あるいは改築工事を行う場合は、防水層を損傷させたり雨水の流れが変化し雨漏りにつながる恐れがありますので、工事を行った建築会社にご連絡下さい。

FRP 防水材の取扱い注意事項

取扱い注意事項

- ① プライマー、不飽和ポリエステル樹脂、ビニルエステル樹脂、トップコート類は、溶剤タイプであり、消防法危険物第4類に属し、引火性がありますので、火気には充分注意して下さい。
- ② 施工時は、換気に充分注意して下さい。必要に応じて、有機ガス用マスクや送風マスクを着用して下さい。
- ③ パーメック NR (K) O4 (硬化剤) は、少量でも取扱いに充分注意して下さい。
- ④ パーメック NR (K) O4 (硬化剤) を添加した樹脂は、発熱しますので、残った材料には必ず水を添加し、反応を停止させて下さい。
- ⑤ プライマー、不飽和ポリエステル樹脂、ビニルエステル樹脂、トップコート類は、冷暗所の屋内に密栓して保管して下さい。補強材は、水に濡れない様にし、湿度の少ない場所に保管して下さい。
- ⑥ 下地温度が0℃以下や50℃以上の場合には、メーカーに御相談下さい。
- ⑦ 作業環境により、次の有資格者を選任して下さい。
 - 有機溶剤取扱作業主任者
 - 酸素欠乏危険作業主任者
 - 危険物取扱者

■ 施工条件

■ 防水施工条件[新築]

信頼性の高い防水層を設置するため、防水施工の前に以下の項目について条件が満たされていることをご確認ください。

- (1) 下地の強度が十分であること。
 1. 現場打ちコンクリートの場合は設計基準強度を満たしていること。
 2. 防水層に悪影響を及ぼさないように配筋上の配慮や調合設計上の工夫、ならびに打設後の養生等の施工管理に注意することでひび割れの発生を少なくし、分散させる。
 3. コンクリート打設後の降雨等で強度が著しく低下している場合は、ハツリ撤去の上コンクリートを打ち直す等の処置にて強度を復旧させる。
- (2) 下地の乾燥が十分であること。
 1. 目視にて表面が乾燥していることを確認する。普通コンクリートの場合、一般的に夏季3週間・冬季4週間程度の乾燥養生期間を目安とするが、下地構成(デッキプレートなどの片面乾燥や吸水性の高い下地等)や天候によって大きく左右されるため、防水層の施工に先立ち以下のような方法で十分に乾燥していることを確認する。
 - (a) 高周波静電容量式水分計を使用した測定。
 - (b) 不透湿シートで床下地表面を覆い周囲をガムテープ等の張付けで密封状態とし、翌日に内面の結露水の有無を確認する。
- (3) 表面が平滑であること。
 1. 平表面は平滑とする。
 2. 浮き・表面剥離等の脆弱部および突起物は除去する。
 3. 豆板・気泡・あばた・目違い・段差・砂すじ等の表面不具合に対する処置を施す。
 4. 立上りも平場と同様に平滑とし、凹凸や不具合も平場と同様の処置を施す。また水切りを良くし、雨仕舞いの納まりをよく検討しておく。
 5. 下地を平滑にするために、ポリマーセメントモルタルは使用せず、不飽和ポリエステル樹脂またはビニルエステル樹脂にタルクや砂等を添加した材料やポリエステルバテを使用する。
- (4) できるだけ速やかに排水させるための処置を施すこと。
 1. 水勾配は1/100以上とする。
 2. ルーフドレンや排水落水口等はスラブ面より低くし、周囲の水はけを良くしながら堅固に設置する。
 3. ドレンの排水能力は将来の改修工事を見据えて余裕を持たせた設定が望ましい。またドレン以外にもオーバーフロー管を設置し、ここから雨水が落ちてくることで使用者にドレンの目詰り等の排水機能の低下を知らせる措置が望まれる。
- (5) 下地表面がよく清掃されていること。
 1. プライマーの接着性を阻害させ、また防水層を劣化させるような塵埃・油脂類・鉄錆等は除去する。
- (6) 防水層に支障があるひび割れ・打継ぎに適切な処置が施されていること。
 1. 防水層に支障が無いひび割れ(概ね1.0mm未満)にウレタン系シーリング材またはポリエステルバテの擦り込みを施す。
 2. 防水層に支障があるひび割れ(概ね1.0mm以上)や打継ぎにはVカット後ウレタン系シーリング材またはポリエステルバテを充填する
 3. 誘発目地・化粧目地には予めポリエステルバテを充填しておく
- (7) 入隅および出隅が適切に処理されていること。
 1. 入隅および立上りの入隅は、ポリエステルバテまたはウレタン系シーリング材を使用して三角形(10~30)またはR面(10~30R)とする。木質系下地では面木を使用することができる。出隅および立上りの出隅は、面取り(10~30)またはR面(10~30R)とする。木質系下地では通り良く面取りまたはR面とする。
- (8) 設備基礎関連で適切な雨仕舞いができること。
 1. コンクリート基礎は原則「躯体一体型」とし、防水層の上に載せることは極力避ける。とくに総重量の大きい設備の場合はこれを遵守する。
 2. 総重量および容積が大きい大型設備のコンクリート基礎は、将来の改修工事を見据えて再塗布が容易となるような作業空間(H450mm程度以上、推奨600mm程度以上)を確保することが望ましい。
 3. 表面は平滑とし、不具合部には適切な処置を施す。また天端は雨水が滞留せず、速やかに排水されるように水平ではなく角度を付けることが望ましい。なお入隅および出隅については(7)と同様とする。
 4. アンカー類は原則「先打ち」とし、周囲に幅・深さ10mm程度の「盗み」をとっておく。また防水層の巻上げ(天端よりH=15mm以上)を確保する。
 5. 基礎ブロックの下やCチャンネル(リップ溝形鋼)・H鋼等と防水層が取合う部分には防振ゴム(t=5mm/先端から10mm以上の余剰分を確保)を設置する。
- (9) 金物関連の取合いで適切な雨仕舞いができること。
 1. FRP防水が掛かる部分は目荒し研磨(サンドペーパー#100程度またはサンダー掛け)を行い、その後脱脂処理を施す。とくに「溶融亜鉛メッキ」等、十分な接着力を得られない可能性がある金属下地の場合は入念に行う。
 2. サッシとの取合い部は、防水施工後にサッシを取付けることとする。
- (10) 配管および配線が防水施工に支障が無いこと。
 1. 防水層上での配管および配線の設置は防水施工の後とするか、または施工に支障が無い段階での工事とする。また将来の改修工事を見据えて、再塗布が容易となるような措置(高さの確保、または吊上げが可能な形状と荷重)をとることが望ましい。
 2. 防水層を貫通する配管や配線は可能な限り避けること。止むを得ず設置する場合は防水施工に支障が無い位置とし、スリーブを使用してFRP防水層100mm以上(推奨値)の補強塗りを施す。またグラつきが無いように完全に固定する。

■ 防水施工条件【改修】

改修工事の場合は既存防水層の種別や劣化状況、および撤去の有無、また新設の防水仕様の種別によって下地処理の内容が異なります。以下の項目をご参考に、現場に即した適切な処置を行ってください。

(1) 下地の乾燥が十分であること。

1. 新設する防水層に支障が生じないよう、高圧水洗浄後は十分に乾燥させる。

(2) 下地が健全であること。

1. 下地面は平滑にする。
2. 浮き・表面剥離等の脆弱部および鉄筋・番線等の突起物は除去する。特に下地がFRP防水の場合、既存のトップコート・中塗りを完全に除去する。
3. 露筋・爆裂は脆弱部を撤去し、鉄筋の錆を落した後断面修復材で処置を施す。
4. 立上りも平場と同様に平滑にし、凹凸や不具合も平場と同様の処置を施す。また水切りを良くし、雨仕舞いの納まりをよく検討しておく。
5. 下地を平滑にするために、ポリマーセメントモルタルは使用せず、不飽和ポリエステル樹脂またはビニルエステル樹脂にタルクや砂等を添加した材料やポリエステルパテを使用する。

(3) 排水勾配は排水に支障がない程度とする。

1. 水勾配は1/100以上とする。
2. 既存のルーフトレンや排水落し口等の周囲の水はけが著しく悪い場合は、周囲のハツリ撤去や納まりの検討を行って勾配修正を施す。

(4) 下地表面がよく清掃されていること。

1. プライマーの接着性を阻害させ、また防水層を劣化させるような塵埃・油脂類・鉄錆等は除去する。
2. ドレン付近に堆積した泥土やゴミ、繁茂しているコケ・植物等も完全に除去する。

(5) 防水層に支障があるひび割れ・打継ぎに適切な処置が施されていること。

1. 防水層に支障が無いひび割れ(概ね1.0mm未満)にウレタン系シーリング材またはポリエステルパテの擦り込みを施す。
2. 防水層に支障があるひび割れ(概ね1.0mm以上)や打継ぎにはVカット後ウレタン系シーリング材またはポリエステルパテを充填する
3. 誘発目地・化粧目地には予めポリエステルパテを充填しておく

(6) 入隅および出隅が適切に処理されていること。

1. 入隅および立上りの入隅は、ポリエステルパテまたはウレタン系シーリング材を使用して三角形(10～30)またはR面(10～30R)とする。木質系下地では面木を使用することができる。出隅および立上りの出隅は、面取り(10～30)またはR面(10～30R)とする。木質系下地では通り良く面取りまたはR面とする。

(7) 基礎廻りで適切な雨仕舞いができること。

1. 架台の下部に隙間がある場合はシーリング材またはポリエステルパテの充填を施す。

(8) 金属類の取合いが適切に処置されていること。

1. 防水層と取合う金属部分は表面の汚れ・油脂類・錆・塗料を除去し、プライマーの接着が阻害されないようにする。
2. 発錆や腐食が進行し、著しく劣化したものは交換をする。
3. FRP防水が掛かる部分は目荒し研磨(サンダーペーパー#100程度またはサンダー掛け)を行い、その後脱脂処理を施す。とくに「熔融亜鉛メッキ」等、十分な接着力を得られない可能性がある金属下地の場合は入念に行う。

(9) シーリング材の設置が適切にされていること。

1. 劣化が進行しているシーリング材は撤去し、打替えを行う。
2. 防水層に支障を生じさせないように、シーリング材の種別選択は適切に行うこと。
3. 防水層端末・金物の取合い等、必要に応じて適切にシーリング材が設置されていること。

■ 各工法施工上および仕上りに関する注意事項

〈 共通事項(施工) 〉

- プライマー、不飽和ポリエステル樹脂、ビニルエステル樹脂、トップコート類は、溶剤タイプであり、消防法危険物第4類に属し、引火性がありますので、火気には十分注意して下さい。
- CT-100R、CT-3000JS、CT-2000、CT-2500、CTカラートップN、CTカラートップF、CT-3000 中塗り、CT-3000トップコートには、硬化剤であるパーメックNR(K)04 を添加して使用して下さい。また、気温に応じてパーメックNR(K)04 の量を0.8～2%の範囲で調整して下さい。
- パーメックNR(K)04(硬化剤)は、少量でも取扱いに十分注意して下さい。
- 硬化剤混合後の樹脂は速やかに使い切ってください。パーメックNR(K)04(硬化剤)を添加した樹脂は、発熱しますので、残った材料には必ず水を添加し、反応を停止させて下さい。
- 樹脂の硬化反応中は水分は厳禁です。
- 高温・厳寒時(0℃以下)の施工は避けてください。下地温度が0℃以下や50℃以上の場合には、メーカーに御相談下さい。
- 屋内の使用においては特定化学物質障害予防規則の対象となります。その場合は、同規則に従い作業主任者を選任するなど法令順守をお願いします。
- 下地に応じて適切なプライマーを選定してください。
- プライマー塗布時、下地への吸い込みが多い場合は再塗布してください。
- 使用する材料は必ず保存期間内のものをご使用ください。
- 材料の扱いに際してはSDS(安全データシート)や製品説明書をよく読み、適切な扱いを行ってください。
- 材料は直射日光や風雨に晒される場所を避け、冷暗所にて貯蔵・保管してください。
- 材料の貯蔵・保管場所へは作業員以外の立入りを禁止し、また転倒防止や火気厳禁等の安全対策を講じてください。
- 産業廃棄物(廃材・廃液)は適切に処理してください。
- FRP防水材の塗布後に降雨・降雪または夜露等の水気にさらされた場合や、塗継ぎ・増塗りおよびトップコートの塗布が接着可能時間を過ぎる場合は、次工程で塗布する材料との接着力低下を防止するために表面を良く研磨し、溶剤洗浄を行ってください。
- 施工時は必要に応じて防毒マスクの着用や換気装置の設置を行い、十分な安全対策を講じるとともに、材料の硬化状況にもご注意ください。
- 平滑仕上げの場合には、トップコートの前にバリ取りを行ってください。

〈 共通事項(仕上り) 〉

- 下地の不陸の影響により、仕上りが平滑にならない場合があります。
- 現場施工の特性上トップコートの仕上りは必ずしも均一になりません。
- 各種トップコートの艶消しタイプは製品特性や施工方法の影響により艶に差が生じる場合があります。
- 各種トップコートの「艶有り」「艶消し」は当社独自の呼称です。

■ 使用材料一覧

一般型 FRP 防水材

一般名称	品名	荷姿・入目	備考	
プライマー	CTプライマー	16kg/缶	1成分形ウレタン樹脂プライマー(溶剤系)	
	CTプライマーJS	16kg/缶(要:納期確認)	1成分形ウレタン樹脂プライマー(溶剤系)(下水道C種、D種用)	
	CTプライマーS	5kg/セット	2成分形ウレタン樹脂プライマー(溶剤系) (アルミ、ステンレス、亜鉛等)	
	CTプライマー添加剤	20kg/箱(4kg×5袋)	接着力保持用添加剤	
	層間プライマーJ	12kg/セット	ウレタン下地用ウレタン樹脂系プライマー	
下塗り・中塗り樹脂	CT-100R	18kg/缶	防水用ポリエステル樹脂	
	CT-2000	16kg/缶	ビニルエステル樹脂中塗り(既着色アイボリー)	
	CT-2500	16kg/缶	ビニルエステル樹脂中塗り(既着色グレー)(パラフィン入り)	
	CT-3000JS	18kg/缶	防食用ビニルエステル樹脂 (下水道C種、D種にも対応)(ビスフェノール型)	
	CT-3000中塗り	16kg/缶(要:納期確認)	ビニルエステル樹脂中塗り	
トップコート	CTフレーク	18kg/缶(要:納期確認)	防食用ガラスフレーク入りビニルエステル樹脂 (無着色)(ビスフェノール型)(材料に対して0.8~2.0%添加)	
	CTカラートップF	20kg/缶	ポリエステル樹脂トップコート(平滑仕上げ)	
	CTカラートップN	20kg/缶	ポリエステル樹脂トップコート(防滑仕上げ)	
	CTカラートップN(防火用)	20kg/缶(要:納期確認)	ポリエステル樹脂トップコート(防火・防滑仕上げ)	
	CTカラートップN(防火用、遮熱)	20kg/缶(要:納期確認)	ポリエステル樹脂トップコート(平滑仕上げ)	
	コンボトップAU	18kg/セット 4.8kg/セット(要:納期確認)	2成分形アクリルウレタン樹脂トップコート(溶剤系)	
	コンボトップAU遮熱	18kg/セット(要:納期確認)	2成分形アクリルウレタン樹脂系トップコート(遮熱タイプ、溶剤系)	
	CT-3000トップコート	16kg/缶(要:納期確認)	ビニルエステル樹脂トップコート(ビスフェノール型)	
	CT-3000トップコートJS	18kg/缶(要:納期確認)	ビニルエステル樹脂トップコート(ビスフェノール型)	
CTフレークトップコート	18kg/缶(要:納期確認)	ビニルエステル樹脂トップコート		
着色剤	CTトナー	1kg/缶	着色剤	
硬化剤及び助剤	パーメックNR(K)O4	1kg/ビン 5kg/ビン	ポリエステル樹脂、ビニルエステル樹脂用硬化剤、 MEKパーオキシサイド(材料に対して0.8~2.0%添加)	
	CTコバルト	1kg/缶	硬化促進用添加剤(添加する場合は材料に対して0.3~1.0%添加)	
	CTワックス	1kg/缶	表面乾燥剤(添加する場合は材料に4~6%添加する)	
補強材	ガラスマット#380	両耳 巾1.0m×76m/巻	チョップドストランドマット	
	ガラスマット#450	両耳 巾1.0m×64m/巻		
	ガラスマット#380(FBK用)	両耳 巾1.0m×71m/巻		
	ガラスマット#450(FBK用)	両耳 巾1.0m×60m/巻		
	サーフェイスマット30P	巾1.04m×200m/巻		ガラス繊維製不織布
副資材	CTバテ	3kg/缶	ポリエステル樹脂バテ	
	CTバテJS	10kg/缶(要:納期確認)	ビニルエステル樹脂バテ(下水道C種、D種用)	
	コロテクトテープ	巾75mm×20m/巻(6巻/箱)	ポリエステル不織布付非加硫ブルゴム系テープ	
	ジョイントテープTM	巾100mm×50m/巻	PETフィルム付ガラスメッシュテープ	
	FVシート	巾1m×10m/巻	自着層付非加硫ブチルゴム系通気緩衝シート	
	タルク	25kg/袋	増粘材	
	フィライト	0.5kg/箱	トップコート混合用微骨材	
	メチクロ	20kg/缶	工具洗浄用溶剤(不燃性)	
	アセトン	12.7kg/缶	工具洗浄用溶剤(可燃性)	
	セラミックボード	平場用	200mm×400mm×15mm 300mm×300mm×15mm	化粧耐火板(富士スレート株式会社よりご購入ください。)
		側溝用	300mm×400mm×15mm(要:納期確認)	

購入先:富士スレート株式会社 大阪支店 TEL 072-633-2060/FAX 072-633-2062